2024年度 ウィーン
相互派遣高校生募集

荒川区の親善大使として、ホームステイを通じウイーン市ドナウシュタット区の高校生とお互いの言語や文化を学びあい、国際的な視野を広げませんか？
荒川区国際交流協会はチャレンジする高校生を応援します！

ドナウシュタット区役所表敬訪問

国連本部にて

ウィーン市にある壁画前にて

シュトラウス像の前で

お菓子作りを通した交流

荒川区表敬訪問

提灯制作体験

茶道体験

問い合わせ
申し込み先

荒川区国際交流協会事務局
住所：〒116-8501　荒川区荒川 2-2-3
（荒川区役所　文化交流推進課内）
電話：03-3802-3795
メール：kokusai@city.arakawa.lg.jp

※募集要項は
こちらから

荒川区国際交流協会　検索

事業目的

荒川区の友好交流都市であるドナウシュタット区と荒川区の高校生を相互に派遣し、ホームステイを通して友好交流都市の人々との民間交流を推進するとともに、ドナウシュタット区の人々の生活習慣や文化を学び、異文化への理解を深めます。

派遣先

オーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区

ウィーン川にて

日程（予定）

※日程は前後する場合があります

派遣　2024 年 7 月 27 日(土)～2024 年 8 月 6 日(火)

受入　2024 年 8 月 17 日(土)～2024 年 8 月 26 日(月)

プログラム内容

①派遣前：4 月～7 月までの間に約 7 回程度事前研修(平日の 18 時～20 時)

②派遣期間中：ウィーン市及び近郊の施設見学・学習、ホームステイ

※平日の夜と土日はホームステイ先の家庭と過ごします

③受入期間中：ホストファミリーとしての受入及び朝・夕の集合(解散)場所までの送迎

※平日日中のプログラムはウィーンからの派遣高校生のみの参加となります

④帰国後：報告書作成及び3回程度の報告会への参加、本事業に係る広報等への協力

応募資格

①2024 年度(令和 6 年 4 月 1 日現在)高校1年生～3年生

②申し込み時から派遣時を通じて区内に在住していること

③ウィーンからの派遣生(男女問わず)のホームステイを受け入れること(8月中～下旬)

④国際交流に関心があり、派遣の目的を理解し、派遣終了後も荒川区国際交流協会の会員として事業に協力できること

⑤健康で、海外生活やホームステイ、団体行動、交流事業に対応できること

⑥日本の生活や文化、荒川区について積極的に紹介できること

⑦保護者の同意が得られること

⑧英検3級程度以上の英会話力があること(※公用語はドイツ語)

⑨事前研修会および事後報告会にすべて参加できること

⑩広報等(取材、写真掲載、アンケート)にご協力いただける方

芸能体験

募集人数

6 名　※申込多数の場合、高学年を優先する場合があります。

応募方法

応募書類を協会事務局まで持参または郵送・メールにて送付してください

応募書類

①参加申込書一式(区役所・区内図書館・区民事務所、ふれあい館で配布)
②作文「私が考える国際交流」(縦書き原稿用紙3枚、1000～1200字程度、手書き)
※作文には、次の項目を必ず記述してください。
(1)今、あなたが学校生活で取り組んでいることや、力をいれていること
(2)ウィーンに関して興味があるテーマとそのテーマについてウィーンへ行ったらやりたいこと

応募締切

2024 年 3 月 1 日(金) 午後 5 時(必着)

ウィーンでのさよならパーティーで
けん玉を披露する荒川区の高校生

費用

25万円程度(予定)
※物価高騰した場合は、変動する場合がありますのでご了承ください
※予定経費【渡航費、保険料、食費等】の 1/2 相当
※お支払いは一括払いのみとなります

【申込・問い合わせ】

荒川区国際交流協会事務局 (荒川区文化交流推進課内 区役所 3 階①番窓口)
〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3
電話:03-3802-3795 メール:kokusai@city.arakawa.tokyo.jp

荒川区でのさよならパーティー

選考日程

①	3 月 1 日(金)	応募書類受付締め切り
②	3 月 8 日(金)	書類審査結果および選考面接時間通知発送
③	3 月 16 日(土)	荒川区役所にて面接審査
④	3 月22 日(金)	審査結果通知発送

※派遣決定後に、健康上の理由または派遣に不適当な理由が生じた場合、派遣の資格を取り消すものとします。派遣資格が取り消された場合、または派遣者の都合により取りやめた場合、それまでに要した経費および取消に係る経費は応募者の負担となります。

説明会・研修

内定者説明会	4 月 10 日(水)18 時～(場所:荒川区役所)予定 ≪出席者:保護者・派遣生≫
事前研修会	4 月下旬～7月下旬 計 7 回程度予定 ≪出席者:派遣生≫ (内容:異文化コミュニケーション、独語・英語研修、元派遣生との交流)
出発式	7 月下旬予定 ≪出席者:派遣生≫
派遣報告・受入説明会	8月中旬予定 ≪出席者:保護者・派遣生≫
派遣後提出物	派遣報告書の提出
事後報告	計 3 回程度予定(2023 年度は、8 月下旬「ウィーン高校生さよならパーティー」、12 月上旬の日曜日「ドナウ会クリスマス会」、3 月上旬の日曜日「外国人による日本語スピーチ大会」における報告を実施 ※3 月初旬開催予定の協会主催「外国人のための日本語スピーチ大会」の運営補助を含む

2023 年度派遣生の声

Q. 英語は大丈夫だった？

A.　初めは緊張してうまく話せないこともあって、英語で思いを伝えることの難しさと自分の勉強不足を実感しましたが、数日たつと少しずつ落ち着いて受け答えができるようになりました。どうしても伝わらないときは、ジェスチャーや表情、翻訳を使いました。伝えようという意識と積極性が一番大切だと思います。

Q. ウィーンで学んだことは？

A.　まず一つ、オーストリアの歴史や文化について理解を深めることができました。実際に歩いて見ることで、知らないものがたくさんあることを実感し、派遣後もオーストリアについて調べてみたりしています。日本を出るだけでこんなにも景色が違うのかという驚きが大きかったです。また派遣を通して、海外へ行くことや外国語でコミュニケーションをとることへのハードルが自分の中で下がったことで成長を実感しました。

Q. ウィーンのホストファミリーの様子はどうだった？

A.　どの方もとても優しく暖かく接してくれました。最初は緊張しましたが、沢山話しかけてくれて、私からも話すようになりました。

　日本語でなんて言うの？など、日本の文化についてもたくさん質問をしてくれて、「おはよう」や「おやすみなさい」を毎日言ってくれました。

Q. ウィーンの高校生を受け入れた時は？

A.　うまくもてなせるか不安でしたが、誠意を持って接すれば基本的には何でも喜んでくれるはずです。家庭の日常生活を蔑ろにする必要はないと感じます。日本を楽しんでもらうためには、日本人のメンバー同士のコミュニケーションが非常に大事だと感じました。